2019年 ９月試験
ファイナンシャル・プランニング技能検定

３級 実技試験

資産設計提案業務

実施日① ◆	年	月	日
実施日② ◆	年	月	日
実施日③ ◆	年	月	日
試験時間 ◆ 60分			

★ 注 意 事 項 ★

① 問題用紙は試験監督者の指示があるまで開けないでください。
② 試験問題は、試験用紙と解答用紙からなっています。解答はすべて解答用紙に記入してください。
③ 解答用紙にはあらかじめ受検番号、カナ氏名が印字されていますので、ご自身のものかを確認してから漢字氏名を記入してください。
④ 問題数は20問、解答はすべて三答択一式です。
⑤ 試験問題については、特に指示のない限り、法令基準日（１月・５月試験は前年10月1日、９月試験はその年の４月１日）現在において施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例等については考慮しないものとします。
⑥ 試験問題の内容に関する質問には一切お答えできません。
⑦ 問題用紙・解答用紙に印刷不明瞭や乱丁・落丁があった場合は、お申し出ください。
⑧ 解答用紙は試験終了後、回収しますので持ち帰らないでください。問題用紙はお持ち帰りください。
⑨ 計算機（電卓）は演算機能のみを有するものだけ使用できます。関数機能やプログラムの入力可能なものは使用できません。
⑩ 携帯電話やスマートフォンなどの通信機能を有する機器は電源を切ってカバン等へしまってください（マナーモードも不可）。
⑪ 机の上には受検票、本人確認書類、筆記用具（HBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）、計算機（電卓）以外のものは置かないでください。
⑫ 不正行為防止のため、試験監督者が持ち物の提示を求める場合があります。
⑬ 試験問題の音読は慎んでください。
⑭ 試験開始後、途中退室は一切できません。

FP3級ドットコム

【第１問】 下記の（問１）～（問２）について解答しなさい。

問１

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「ＦＰ」という）の行為に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 生命保険募集人・生命保険仲立人の登録をしていないＦＰが、生命保険契約を検討している顧客から相談を受け、顧客が死亡した場合における遺族の必要保障額の計算を有償で行った。
2. 弁護士資格を有していないＦＰが、離婚に伴う財産分与について係争中の顧客から相談を受け、報酬を得る目的でその顧客の代理人として離婚協議書の作成に係る法律事務を取り扱った。
3. 税理士資格を有していないＦＰが、参加費無料の相談会において、相談者の持参した資料に基づき、相談者が納付すべき相続税の具体的な税額計算を行った。

問２

下記は、広尾家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）～（ウ）に入る数値とその求め方として、最も適切なものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果は万円未満を四捨五入すること。

＜広尾家のキャッシュフロー表＞　（単位：万円）

経過年数			基準年	１年	２年	３年
西暦（年）			２０２３	２０２４	２０２５	２０２６
家族・年齢	広尾　優介	本人	３８歳	３９歳	４０歳	４１歳
	奈々子	妻	３７歳	３８歳	３９歳	４０歳
	凛太朗	長男	６歳	７歳	８歳	９歳
	友美	長女	３歳	４歳	５歳	６歳
ライフイベント		変動率		凛太朗 小学校入学	住宅購入	
収入	給与収入（夫）	１％	３７０			３８１
	給与収入（妻）	－	８０	８０	８０	
	収入合計	－	４５０			
支出	基本生活費	１％	１７６		（　ア　）	
	住宅関連費	－	１１７	１１７		１３５
	教育費	－	４２	４５		
	保険料	－	３２	３２	３２	３２
	一時的支出	－			１，３００	
	その他支出	－	１０	１０	１０	１０
	支出合計	－	３７７	３８２		４１０
年間収支			（　イ　）		▲１，２３７	５１
金融資産残高		１％	１，４６２		３２７	（　ウ　）

※年齢および金融資産残高は各年１２月３１日現在のものとし、２０２３年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部空欄としてある。

1．空欄（ア）：「１７６×（１＋０．０１）^{2}≒１８０」

2．空欄（イ）：「３７７－４５０＝▲７３」

3．空欄（ウ）：「（３２７＋５１）×（１＋０．０１）≒３８２」

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第２問】 下記の（問３）～（問５）について解答しなさい。

問３

下記は、ＮＩＳＡの成長投資枠についてまとめた表である。下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句として、最も不適切なものはどれか。なお、本問においては、ＮＩＳＡ口座（特定非課税累積投資契約に係る非課税口座）のうち、特定非課税管理勘定を「成長投資枠」という。

対象となる金融商品	上場株式、株式投資信託、（　ア　）等
口座開設	原則１人１口座
金融機関の変更	１年単位で可能
非課税投資枠	新規投資額で年間（　イ　）まで
非課税枠の未使用分	翌年以降に（　ウ　）

1. （ア）個人向け国債
2. （イ）２４０万円
3. （ウ）繰り越すことができない

問４

下記<資料>に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、この企業の株価は１３，５００円であるものとし、購入時の手数料および税金は考慮しないこととする。

<資料>

6594 日本電産（にほんでんさん）

【特色】世界首位のHDD用など精密小型モーターから車載、産業用など中大型にシフト。買収積極的。

【連結事業】精密小型モータ30(16)、車載・家電・商業10(19)、電子・光学部品5〈機器装置〉55(10)、産業用0(14)、他0(14)【海外】86

【決算】３月　【設立】1973.7　【上場】1988.11

【続伸】需要拡大続く自動車向けは電動パワステ用など伸長。家電向けも堅調。HDD用は数量減だが高単価品が好調で補う。1ドル100円前提の会社計画は慎重。

【生産強化】新興国の空調需要増へ対応すべく、19年3月期は自動車向け中心に拡大続く。

シコン工場増設、増産加速し安定供給企図。

月よりトナム新工場を建設、19年3月期は米中貿易摩擦を受けメキシコ工場量産開始。

るために生産強化を図る。

年月【資本異動】		万株
12.10	交換	14,507
13. 9	交換	14,507
13.10	交換	14,507
14. 4	分1→2	29,015
14.10	交換	29,015

東証	高値	安値
88~16	30000(99)	1940(95)
17	16550(11)	9713(4)
18.1~11	18525(1)	13370(10)

	高値	安値	出来万株
18. 9	16930	15170	1,457
10	16685	13370	2,505
#11	14845	13440	1,545

【10年前比較】営業利益一倍
時価総額8.23倍 1年前比0.88倍
【四半期進捗率】3期平均49.3%*
今期50.4%(+1.1%)

【業種】電子部品・産業用電子機器
時価総額順位 2／247社
【比較会社】6503 三菱電機, 6592 マブチ

【株式】9/31 298,142千株
単位 100株 [貸借] [優待]
時価総額 41,888億円
【財務】<◇18.9> 百万円

総資産	1,894,588
自己資本	1,010,849
自己資本比率	53.4%
資本金	87,784
利益剰余金	885,930
有利子負債	376,546

【指標等】 <◇18.3>

ROE	14.8%	予15.1%
ROA	7.4%	予 8.0%
調整1株益		一円
最高純益(18.3)		131,434
設備投資	908億	予1,500億
減価償却	686億	予 740億
研究開発	554億	予 630億

【キャッシュフロー】 億円

営業CF	1,755	(1,298)
投資CF	▲1,139	(▲2,114)
財務CF	▲1,168	(958)
現金同等物	2,659	(3,215)

【株主】㊫55,172名<18.9> 万株

永守重信	2,473	(8.2)
日本トラスティ信託口	1,820	(6.1)
日本マスター信託口	1,576	(5.2)
京都銀行	1,239	(4.1)
㈱エスエヌ興産	1,012	(3.3)
SSBTC・クライアント・オムニバス・アカウント	882	(2.9)
三菱UFJ銀行	742	(2.4)
日本生命保険	657	(2.2)
明治安田生命保険	640	(2.1)
日本トラスティ信託口5	469	(1.5)

<外国>34.1% <浮動株> 6.0%
<投信> 7.2% <特定株>40.0%

【役員】㊨永守重信 (取)吉本浩之 小部博志 片山幹雄 佐藤明 宮部俊彦 佐藤禎一* 清水治* (常監)田邊隆一* 村上和也 ⇨欄外

【連結】日本電産サンキョー, 日本電産テクノモータ

【業績】(百万円)	売上高	営業利益	税前利益	純利益	1株益(円)	1株配(円)
◎14. 3*	875,109	85,068	84,664	56,404	207.3	50
◎15. 3	1,028,385	111,218	107,371	76,216	272.3	70
◇16. 3	1,178,290	117,662	117,164	89,945	303.0	80
◇17. 3	1,199,311	140,331	142,278	111,721	376.7	85
◇18. 3	1,488,090	167,637	164,460	131,434	443.9	95
◇19. 3予	1,650,000	202,000	200,000	152,300	517.5	105
◇20. 3予	1,745,000	230,000	227,000	175,000	594.6	105~110
中18. 9	777,604	98,237	98,267	78,510	265.8	50
中19. 9予	820,000	110,000	110,000	84,000	285.4	50
会19. 3予	1,600,000	195,000	187,500	147,000	(18.7.25発表)	

【配当】	配当金(円)
17. 3	45
17. 9	45
18. 3	50
18. 9	50
19. 3予	55
19. 9予	50
20. 3予	55~60

予想配当利回り 0.75%
1株純資産(円)<◇18. 9> 3,435 (3,153)

【本社】601-8205京都市南区久世殿城町338
☎075-922-1111
【営業拠点】京都, 東京【研究開発拠点等】京都2, 滋賀, 長野, 神奈川2, 海外2
【従業員】<18.9>連111,120名 単2,866名(39.5歳)臣663万円
【証券】㊤東京 醫㈱三菱Uモル(副)日興, 大和, 野村, みずほ 図三井住友信 監PwC京都
【銀行】三菱U, 京都, 三井住友, 滋賀, 三井住友信, みずほ, 八十二
【仕入先】－
【販売先】－

（出所：東洋経済新報社「会社四季報」２０１９年第１集）

1．２０１８年３月期における１株当たりの利益は４４３．９円である。

2．この企業の株を１単元（１単位）購入するために必要な資金は１３５万円である。

3．この企業の株を１単元（１単位）保有していた場合、２０１８年３月期における年間の配当金額（税引前）は５，０００円である。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

問５

下記＜資料＞に基づくＳＺ株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、購入時の手数料および税金は考慮しないこととする。

＜資料＞

［株式市場に関するデータ］

株式市場　（28日）

◇投資指標（ＰＥＲと配当利回りの太字は予想、カッコ内は前期基準、ＰＢＲは四半期末基準、連結ベース）

	ＰＥＲ（倍）	ＰＢＲ（倍）	配当利回り（%）単純平均	配当利回り（%）加重平均
日経平均採用銘柄	**11.96**(11.59)	**1.09**	**2.23**(2.00)	
ＪＰＸ日経400採用銘柄	**12.82**(12.53)	**1.27**	**1.93**(1.80)	
東証１部全銘柄	**13.27**(13.06)	**1.16**	**2.03**(1.94)	**2.44**(2.38)
東証２部全銘柄	**5.46**(6.07)	**0.86**	**1.96**(1.94)	**1.57**(1.33)
ジャスダック全銘柄	**12.95**(19.83)	**1.24**	**1.75**(1.75)	

株式益回り（東証１部全銘柄）　予想　7.53%　前期基準　7.65%

（出所：日本経済新聞　２０１９年１月２９日朝刊　２２面）

［ＳＺ株式会社に関するデータ］

株価	２８０円
１株当たり純利益（今期予想）	２７円
１株当たり純資産	３１０円
１株当たり年間配当金（今期予想）	９．５円

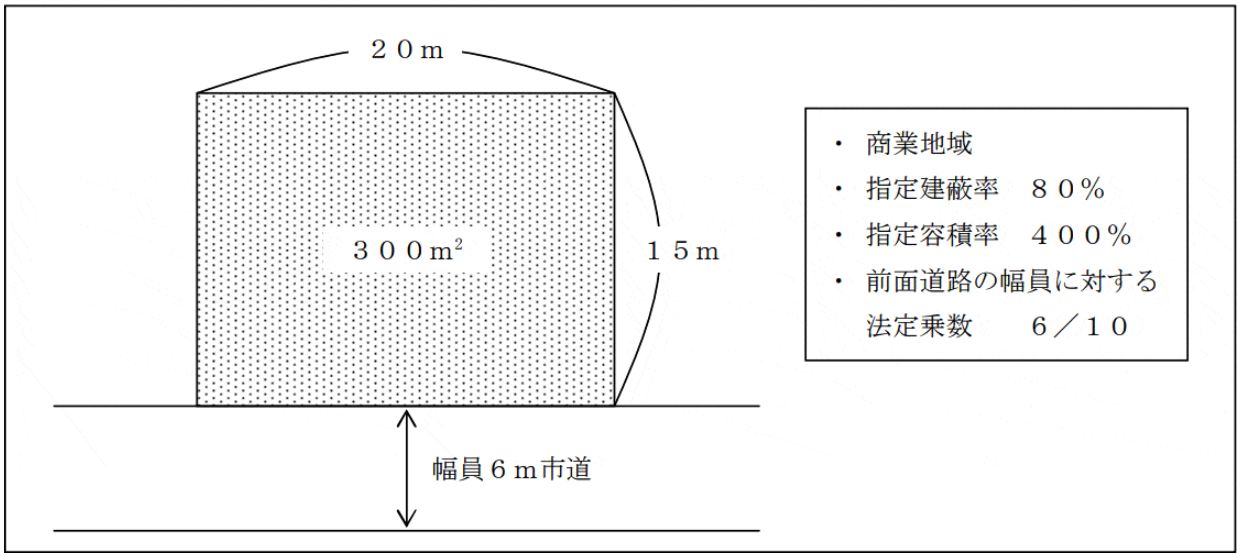
1. 株価収益率（ＰＥＲ）で比較した場合、ＳＺ株式会社の株価は日経平均採用銘柄の平均（予想ベース）より割安である。
2. 株価純資産倍率（ＰＢＲ）で比較した場合、ＳＺ株式会社の株価は東京証券取引所市場第１部（東証１部）全銘柄の平均より割高である。
3. 配当利回りで比較した場合、ＳＺ株式会社の配当利回りは東京証券取引所市場第１部（東証１部）全銘柄の単純平均（予想ベース）より高い。

【第３問】 下記の（問６）～（問７）について解答しなさい。

問６

建築基準法に従い、下記＜資料＞の土地に建築物を建築する場合、その土地に対する建築物の建築面積の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

＜資料＞



1. ３００㎡×８０％×６／１０＝１４４㎡
2. ３００㎡×８０％＝２４０㎡
3. ３００㎡×４００％＝１，２００㎡

問７

土地の登記記録に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

＜土地登記記録の構成＞

土地登記記録	表題部	（　ア　）	
	権利部	甲区	（　イ　）
		乙区	（　ウ　）

1. 土地を最初に取得した者がする所有権保存登記は、（ア）に記録される。
2. 土地が売買により取得された場合、買主がする所有権移転登記は、（イ）に記録される。
3. 工場を建設する際に、金融機関から融資を受け、土地を担保として抵当権が設定される場合、抵当権設定登記は、（ウ）に記録される。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第４問】 下記の（問８）～（問１０）について解答しなさい。

問８

唐沢敏和さんが加入している生命保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、敏和さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険証券記号番号
○○△△××□□

定期保険特約付終身保険

保険契約者	唐沢　敏和　様		保険契約者印
被保険者	唐沢　敏和　様　契約年齢　３７歳 １９７２年１１月７日生　男性		唐沢
受取人	（死亡保険金） 唐沢　文子　様（妻）	受取割合 １０割	

◇契約日（保険期間の始期）
２０１０年３月１日

◇主契約の保険期間
終身

◇主契約の保険料払込期間
６０歳払込満了

◆ご契約内容

終身保険金額（主契約保険金額）	３００万円
定期保険特約保険金額	１，５００万円
特定疾病保障定期保険特約保険金額	１，０００万円
傷害特約保険金額	５００万円
災害入院特約［本人・妻型］入院５日目から	日額５，０００円
疾病入院特約［本人・妻型］入院５日目から	日額５，０００円

不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて手術給付金（入院給付金日額の１０倍・２０倍・４０倍）を支払います。
※妻の場合は、本人の給付金の６割の日額となります。

生活習慣病入院特約	入院５日目から　日額５，０００円
リビング・ニーズ特約	

◆お払い込みいただく合計保険料

毎回　××，×××円

［保険料払込方法（回数）］
団体月払い

◇社員配当金支払方法
利息をつけて積立て

◇特約の払込期間および保険期間
１０年

唐沢敏和さんが、２０２３年中に交通事故で大ケガを負い、給付倍率１０倍の手術を受け、継続して１０日間入院した場合、支払われる給付金は、合計（　ア　）である。

1．３万円
2．８万円
3．１０万円

問９

柴田さんは、地震保険についてＦＰの横川さんに質問をした。地震保険に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 地震保険は、住宅総合保険などの火災保険契約に付帯して契約する必要はなく、単独で契約することができる。
2. 地震により、居住用の建物に収容されている家財のうち、１個または１組の価額が３０万円を超える骨とう品が損害を受けた場合、地震保険の補償の対象となる。
3. 噴火により、居住用の建物が大半損となった場合、地震保険の補償の対象となる。

問１０

野村忠さんが契約している自動車保険の主な内容は、下記＜資料＞のとおりである。＜資料＞に基づく次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、いずれも保険期間中に損害が発生したものであり、運転者は忠さんである。また、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

保険種類	自動車保険
保険期間	１年
保険契約者	野村　忠
記名被保険者	野村　忠
対人賠償	無制限
対物賠償	無制限（免責金額なし）
人身傷害	１名につき１億円
車両保険	一般条件　１８０万円

1. 自動車を運転中に、他の自動車と衝突事故を起こし、忠さんが重傷を負った場合、人身傷害保険の補償の対象となる。
2. 自動車を運転中に、誤ってブロック塀に接触し、被保険自動車が破損した場合、車両保険の補償の対象となる。
3. 自動車を駐車場に駐車する際に、誘導中の妻に誤って車が接触し、ケガを負わせた場合、対人賠償保険の補償の対象となる。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第５問】 下記の（問１１）～（問１２）について解答しなさい。

問１１

会社員の大下さんの２０２３年分の収入は下記＜資料＞のとおりである。大下さんの２０２３年分の給与所得の金額として、正しいものはどれか。なお、＜資料＞に記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

内容	金額
給料	５８０万円
賞与	１７０万円

＜給与所得控除額の速算表＞

給与等の収入金額		給与所得控除額
	１８０万円 以下	収入金額×４０％－　１０万円 ５５万円に満たない場合は　５５万円
１８０万円 超	３６０万円 以下	収入金額×３０％＋　８万円
３６０万円 超	６６０万円 以下	収入金額×２０％＋　４４万円
６６０万円 超	８５０万円 以下	収入金額×１０％＋１１０万円
８５０万円 超		１９５万円

1．７５０万円

2．５６５万円

3．４１０万円

問１２

会社員の井上太一さんが、２０２３年中に支払った医療費等が下記＜資料＞のとおりである場合、太一さんの２０２３年分の所得税の確定申告における医療費控除の金額として、正しいものはどれか。なお、太一さんの所得は給与所得７００万円のみであり、妻および長女は太一さんと生計を一にしている。また、医療費控除の金額が最も大きくなるよう計算すること。

＜資料＞

支払月	医療等を受けた人	内容	支払金額
２月	本人	人間ドック代（※１）	８０，０００円
５月	妻	入院費用（※２）	２３０，０００円 （うち差額ベッド料６０，０００円）
７月	長女	健康増進のためのビタミン剤の購入代	１０，０００円

（※１）人間ドックの結果、特に重大な疾患等は発見されなかった。

（※２）保険金等により補てんされた金額はないものとする。また、自己の都合により差額ベッドを使用し、差額ベッド料を支払った。

1. ７０，０００円
2. １３０，０００円
3. １６０，０００円

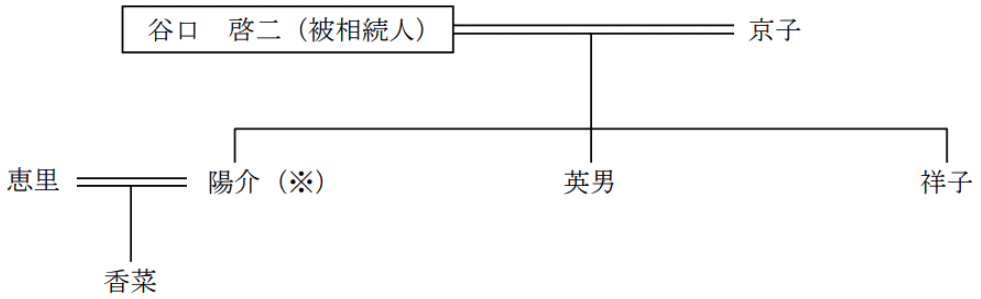
〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第６問】 下記の（問１３）～（問１５）について解答しなさい。

問１３

２０２３年９月２日に相続が開始された谷口啓二さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜親族関係図＞



※陽介さんは期限内に所定の手続きを行い、相続を放棄した。

1．京子 １／２　英男 １／４　祥子 １／４
2．京子 １／３　英男 １／３　祥子 １／３
3．京子 １／２　英男 １／６　祥子 １／６　香菜 １／６

問１４

大垣康夫さん（３０歳）が２０２３年中に贈与を受けた財産の価額と贈与者は以下のとおりである。康夫さんの２０２３年分の贈与税額として、正しいものはどれか。なお、２０２３年中において、康夫さんはこれ以外の財産の贈与を受けておらず、相続時精算課税制度は選択していないものとする。

- 康夫さんの父からの贈与　現金４５０万円
- 康夫さんの祖母からの贈与　現金１００万円

※ 上記の贈与は、住宅取得等資金や教育資金、結婚・子育てに係る資金の贈与ではない。

＜贈与税の速算表＞

（イ）１８歳以上の者が直系尊属から贈与を受けた財産の場合

基礎控除後の課税価格		税率	控除額
	２００万円 以下	１０％	－
２００万円 超	４００万円 以下	１５％	１０万円
４００万円 超	６００万円 以下	２０％	３０万円
６００万円 超	１，０００万円 以下	３０％	９０万円
１，０００万円 超	１，５００万円 以下	４０％	１９０万円
１，５００万円 超	３，０００万円 以下	４５％	２６５万円
３，０００万円 超	４，５００万円 以下	５０％	４１５万円
４，５００万円 超		５５％	６４０万円

（ロ）上記（イ）以外の場合

基礎控除後の課税価格		税率	控除額
	２００万円 以下	１０％	－
２００万円 超	３００万円 以下	１５％	１０万円
３００万円 超	４００万円 以下	２０％	２５万円
４００万円 超	６００万円 以下	３０％	６５万円
６００万円 超	１，０００万円 以下	４０％	１２５万円
１，０００万円 超	１，５００万円 以下	４５％	１７５万円
１，５００万円 超	３，０００万円 以下	５０％	２５０万円
３，０００万円 超		５５％	４００万円

1. ８０万円
2. ６７万円
3. ５８万円

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

問１５

下記は、贈与税の配偶者控除の適用要件および控除額についてまとめた表である。下表の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。

対象となる贈与	居住用不動産の贈与または居住用不動産を取得するための金銭の贈与
婚姻期間の要件	贈与者である配偶者との婚姻期間が（　ア　）年以上であることが必要である。
申告要件	一定の事項を記載した贈与税の申告書を提出することが必要である。
控除額	基礎控除とは別に、最大（　イ　）万円が課税価格から控除される。

1.　（ア）１０　（イ）１，０００
2.　（ア）１０　（イ）２，０００
3.　（ア）２０　（イ）２，０００

【第７問】 下記の（問１６）～（問２０）について解答しなさい。

《設　例》

馬場誠さんは株式会社ＰＫに勤める会社員である。誠さんは間もなく５０歳を迎えることもあり、今後の生活設計についてＦＰで税理士でもある藤原さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも２０２３年９月１日現在のものである。

［家族構成（同居家族）］

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
馬場　誠	本人	１９７５年８月　７日	４８歳	会社員
陽子	妻	１９７７年５月１０日	４６歳	専業主婦
萌	長女	２００３年６月１６日	２０歳	大学生

［保有財産（時価）］

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	６５０
定期預金	５００
財形年金貯蓄	３２０
上場株式	２４０
生命保険（解約返戻金相当額）	８０
不動産（自宅マンション）	２，８００

［負債残高］

住宅ローン（自宅マンション）：１，９００万円（債務者は誠さん、団体信用生命保険付き）

［その他］

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

問１６

ＦＰの藤原さんは、馬場家のバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとする。

＜馬場家のバランスシート＞　（単位：万円）

［資産］		［負債］	
金融資産		住宅ローン	×××
普通預金	×××		
定期預金	×××	負債合計	×××
財形年金貯蓄	×××		
上場株式	×××		
生命保険（解約返戻金相当額）	×××	［純資産］	（　ア　）
不動産（自宅マンション）	×××		
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1．２，３７０（万円）
2．２，６１０（万円）
3．２，６９０（万円）

問１７

誠さんは、６０歳で定年を迎えた後、その後公的年金の支給が始まる６５歳までの５年間の生活資金に退職一時金の一部を充てようと考えている。仮に退職一時金のうち７００万円を年利２．０％で複利運用しながら５年間で均等に取り崩すこととした場合、年間で取り崩すことができる最大金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の３つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、円単位で解答すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利２．０％）＞

	減債基金係数	現価係数	資本回収係数
５年	０．１９２１６	０．９０５７	０．２１２１６

※記載されている数値は正しいものとする。

1．１，４８５，１２０円
2．１，３４５，１２０円
3．１，２６７，９８０円

問１８

誠さんは、住宅ローンの繰上げ返済について、ＦＰの藤原さんに質問をした。住宅ローンの繰上げ返済に関する藤原さんの次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「繰上げ返済は、現に返済しているローンの利息部分を返済するものです。」
2. 「毎月の返済額は変えずに、返済期間を短縮する方法を『期間短縮型』といいます。」
3. 「最低返済額や繰上げ手数料は、金融機関によって異なります。」

問１９

誠さんは、個人型確定拠出年金（以下「ｉＤｅＣｏ」という）について、ＦＰの藤原さんに質問をした。ｉＤｅＣｏに関する藤原さんの次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「国民年金の第３号被保険者である陽子さんは、ｉＤｅＣｏの加入対象者となります。」
2. 「ｉＤｅＣｏに加入した場合、支払った掛金は、生命保険料控除として所得控除の対象となります。」
3. 「受給権が発生する年齢に到達すると、老齢給付金は年金として受け取ることができるほか、一時金として受け取ることもできます。」

問２０

誠さんは、通常６５歳から支給される老齢基礎年金を繰り上げて受給できることを知り、ＦＰの藤原さんに質問をした。老齢基礎年金の繰上げ受給に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、老齢基礎年金の受給要件は満たしているものとする。

1. 老齢基礎年金を繰上げ受給した場合の年金額の減額は、一生涯続く。
2. 老齢基礎年金を繰上げ受給した場合の年金額は、繰上げ月数１月当たり０．４％の割合で減額される。
3. 老齢基礎年金を６０歳から繰上げ受給した場合、老齢厚生年金を同時に繰上げ受給する必要はない。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

《模範解答》

問番号	解答
問1	1
問2	1
問3	1
問4	3
問5	2
問6	2
問7	1
問8	2
問9	3
問10	3
問11	2
問12	1
問13	1
問14	3
問15	3
問16	3
問17	1
問18	1
問19	2
問20	3